

令和7年度第9回薬事審議会化学物質安全対策部会化学物質調査会

令和7年度化学物質審議会第4回安全対策部会

第261回中央環境審議会環境保健部会化学物質審査小委員会

【第一部】

議事要旨

日 時 令和8年1月13日(火)13時00分～15時00分

場 所 厚生労働省内会議室 及び オンライン(ハイブリッド)

議 題

1. 優先評価化学物質のリスク評価(一次)評価Ⅱにおける評価について

審議物質① ρ -ジクロロベンゼン(#53)【生態影響】

審議物質② 1, 4-ジオキサン(#80)【人健康影響】

審議物質③ デカン-1-オール(#170)【生態影響】

2. その他

議 事

会議は公開で行われた。

○議題1について

- 優先評価化学物質 通し番号 53「 ρ -ジクロロベンゼン」のリスク評価(一次)評価Ⅱ(生態影響)に係る審議が行われ、リスク評価結果(案)が了承された。
- 優先評価化学物質 通し番号 80「1, 4-ジオキサン」のリスク評価(一次)評価Ⅱ(人健康影響)に係る審議が行われ、有害性情報の詳細資料(修正案)について一部修正することとした上で了承され、修正内容は座長一任とされた。また、リスク評価の進捗報告がなされた。
- 優先評価化学物質 通し番号170「デカン-1-オール」のリスク評価(一次)評価Ⅱ(生態影響)に係る審議が行われ、有害性情報の詳細資料(案)について一部修正することとした上で、リスク評価結果(案)が了承された。本物質の優先評価化学物質の指定を取り消す。

○議題2について

- 令和4年度の一般化学物質のスクリーニング評価において生態影響に係るデフォルトの有害性クラスを適用する候補物質となり有害性情報の提供があった物質については、実態を考慮した新たな評価単位の設定に基づくスクリーニング評価を実施した結果、優先評価化学物質に指定することは適当ではなく、また、新たな評価単位に含まれる優先評価化学物質 通し番号 248「3a, 4, 5, 6, 7, 7a-ヘキサヒドロ-1H-4, 7-メタノインデン-5-イル=アセタート」は優先評価化学物質の指定を取り消す旨、報告がなされた。

- 令和7年度の一般化学物質のスクリーニング評価において生態影響に係るデフォルトの有害性クラスを適用する候補物質に関する今後の進め方について、候補物質に係る試験報告書の提出があったため、生態影響に係るデフォルトの有害性クラスの適用を保留し、提供のあった有害性情報の信頼性評価を行い次年度以降のスクリーニング評価の対象とする旨、報告がなされた。
- 化審法の優先評価化学物質の見直しについて、優先評価化学物質 通し番号 67「テレフタル酸ジメチル」の優先評価化学物質の指定を取り消す旨、報告がなされた。
- MCCP の第一種特定化学物質への指定に伴う優先評価化学物質 通し番号 218「モノ(又はポリ)クロロアルカン(C=14~17、直鎖型)」(以下「優先 218」という。)の評価単位の見直しについて、令和5年度実績の優先 218 の届出情報が全て MCCP を除いた評価単位の化学物質であると仮定して、一般化学物質のスクリーニング評価と同様の方法により令和8年度にスクリーニング評価を実施すること、MCCP の第一種特定化学物質への指定と同時に優先 218 は優先評価化学物質の指定を取り消す旨、報告がなされた。